

2020年8月20日 第336号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19の日行動」

いのち守れ! 臨時国会ただちに開け!

怒り心頭 人命軽視の安倍首相を辞めさせよう!

総がかり行動実行委員会は8月19日夜、国会議員会館前で「19日行動」を行い、900人が参加しました。「いのちを守れ! 臨時国会ただちに開け! 敵基地攻撃は憲法違反! 安倍改憲発議とめよう! 安倍内閣退陣」を求めました。立憲民主党の武内則男衆議院議員、日本共産党の宮本徹衆議院議員、社会民主党の福島みずほ参議院議員があいさつしました。

憲法9条を壊すな! 実行委員会の菱山南帆子さんが主催者あいさつ。「安倍首相は、終戦記念日のあいさつでも、侵略戦争への謝罪がなかった。歴史を抹殺しようとしている。そして、コロナ禍なのに戦闘機を爆買いしようとしている。なぜ医療・福祉、いのちを守るために使わないのか、怒り心頭だ。人命を軽視する安倍首相にいのちと暮らしをまかせるわけにはいかない。一刻も早く辞めさせよう。市民と野党の共闘で政治を変えよう」と呼びかけました。

4人の市民が訴え。安保法制違憲訴訟の会の児玉勇二弁護士は「22地域・25裁判で8000人近い原告がたたかっている。本人尋問や証拠調べもなしに、安倍政権に付度した判決が出されている。諦めずにがんばる。裁判への支援を」と呼びかけました。

看護師の宮子あずさんは「保健所の機能が衰弱している。多摩地区では保健所が各市になく、これではいのちが守れない。お金の使い方がおかしい。国会を開いて審議をしてほしい」と訴えました。

日韓民衆連帯全国ネットワークの渡辺健樹さんは「昨日、米韓合同軍事演習が行われた。こうしたことが続くと東北アジアの平和が遠くなる。安倍政権はこうした緊張状態を口実に軍事大国化を進めている。9月17日に日朝ピョンヤン宣言18周年集会がある。ご参加を」と呼びかけました。

反貧困ネットワークの瀬戸大作さんは「コロナ禍で支援基金を集め、緊急支援を行っているが、20～40歳代の人が多い。ホームレスは事実上、特別定額給付金も受けられない。歴史的に排除されてきた。これ以上弱い人たちが死んでいいのか。平和運動などさまざまな団体と手を携え、ともにがんばっていこう」と呼びかけました。

戦争をさせない1000人委員会の竹内広人さんが、下記の行動などを提起しました。



* 当面の行動

- 9月1日(火) ウィメンズアクション 18時～ 有楽町・イトシア前
- 9月11日(金) 総がかり行動実行委員会 署名宣伝 18時～ 新宿駅西口
- 9月17日(木) 日朝ピョンヤン宣言18周年集会 18時30分～ 文京区民センター
- 9月19日(土) 総がかり行動実行委員会「19日行動」15時～ 国会正門前

総がかり行動実行委員会 署名・宣伝行動

憲法生かし、一人ひとりが大切にされる社会に

総がかり行動実行委員会に参加する3団体は共同して8月13日夕、新宿駅西口で署名・宣伝行動を行い、45人が参加、改憲発議反対署名は54人から寄せられました。憲法共同センターからは全教の壇原毅也さん、全労連の長尾ゆりさんが訴えました。



壇原さんは「コロナ問題で今の政治は、いのち・暮らしを守るという役割を果たしていない。憲法は政治の役割の拠り所となるもの」と指摘。学校でコロナ感染を防ぐために1クラスの人数を減らし、間隔をあけて授業を行ってきたことで『子どもたちにとってわかりやすい授業をすることができた』『一人ひとりの子どもを大切にできるようになった』との声が出されている。今こそ、少人数学級へ転換させるため、声をあげていくことが大事だ。憲法を生かし、一人ひとりを大切に、そういう

ことのためにお金を使うべき。声をあげれば社会を動かせる。力をあわせよう」と呼びかけました。

長尾さんは、「75年前、広島・長崎に原爆が投下され、その年のうちに21万人のいのちが奪われた。核兵器禁止条約という平和的な国際ルールを作ることは、核保有の大国の手をしばることになる。あと6カ国が批准すれば条約が発効する。しかし、日本は被爆国であるのに批准していない」と、アメリカの兵器を爆買いしアメリカの顔色ばかりをうかがう安倍政権を批判しました。コロナ問題について「今後どうなっていくか科学的知見をいかした対策、検査を抜本的に増やすことが必要。沖縄で医療が大変な状況ならどういった援助ができるか、こうしたことについて国会を開いて審議すべきなのに、安倍首相は臨時国会を開かない。コロナ対策をしっかりとやるのが憲法を生かす道。いのちが大切にされる政治、憲法が生かされる政治に変えていこう」と呼びかけました。

「私の一言」届いています! その13

憲法共同センター「憲法リーフ」の署名ハガキが返信されて来ています。そこにある「私の一言」欄に寄せられた言葉を紹介します。

コロナ騒動に乗じて安倍総理は、緊急事態宣言を発動しました。自粛要請は宣言を出さなくても可能です。このような、おどろおどろしい響きのある宣言は、今後、何か事が起きた時に悪用される恐れがあります。ある日、ある時、時の政権がこの宣言を利用して、国民を統制することのないように、現憲法に即して考え、判断し、「戦争する国づくりストップ!」と、私たちは行動していかなばと、切に思います(石川県金沢市から)。

生まれたばかりの双子の男の子、4歳のお兄ちゃんと孫はかわいいもの。みなさん、そうでしょう。自分の孫だけでなく、すべての人の孫たちが戦争で苦しむ世の中にならぬよう切に願います。そのためには、平和憲法を変えてはいけないと、70歳の祖母は心から思います(東京都府中市から)。

満州から引き揚げてきた戦争体験者です。祖父と妹が日本に帰る途中で死亡しています。戦争は二度とあってはならないと思います。日本の憲法はしっかりと守り、9条は日本の宝です。戦争する国づくりをストップさせていきましょう(京都府京都市から)。